

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年11月13日
【四半期会計期間】	第35期第3四半期（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）
【会社名】	日本和装ホールディングス株式会社
【英訳名】	NIHONWASOU HOLDINGS, INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 道面 義雄
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木六丁目2番31号
【電話番号】	03 - 5843 - 0097（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 高梨 宏史
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木六丁目2番31号
【電話番号】	03 - 5843 - 0097（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 高梨 宏史
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第34期 第3四半期連結 累計期間	第35期 第3四半期連結 累計期間	第34期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	3,997,538	3,095,576	5,510,785
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	421,515	144,841	568,934
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 ( ) (千円)	271,347	168,888	359,838
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	270,215	169,461	359,024
純資産額 (千円)	3,027,613	2,865,370	3,116,422
総資産額 (千円)	9,272,023	8,901,635	9,016,360
1株当たり四半期(当期)純利益又は1株当たり四半期純損失 (円) ( )	30.11	18.63	39.88
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	32.7	32.2	34.6

回次	第34期 第3四半期連結 会計期間	第35期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	10.91	18.80

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第34期第3四半期連結累計期間及び第34期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第35期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、当該事業に携わっている主要な関係会社に異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクは、次のとおりであります。なお、文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

以下の見出しに付された項目番号は、前事業年度の有価証券報告書における「第一部 企業情報 第2 事業の状況 2 事業等のリスク」の項目番号を新たに追加したものであります。

#### (13) 自然災害等のリスクについて

想定外の大規模地震、津波、洪水等の自然災害や火災等の事故災害、感染症の流行、その他の要因による社会的混乱等が発生したことにより、当社グループや取引先の事業活動の停止または事業継続に支障をきたす事態が発生した場合には、当社グループの経営成績や財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

なお、今般発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が長期化し、その終息時期が見通せない状況が続いております。当社グループの事業活動及び業績にさらなる影響を及ぼす可能性があるため、引き続き注視してまいります。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### 経営成績

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じつつ、社会経済活動が徐々に再開されたことや、政府による各種政策の効果もあり、きわめて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待されます。しかし、国内外の新型コロナウイルス感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響について注視する必要があり、先行きが不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当社も新型コロナウイルス感染症後の『新しい生活様式』に合わせ、スタッフの体調管理や手指の消毒、フェイスガードやマスクの着用、換気といった対策に取り組み、お客様の健康と安全面に最大限の配慮をし、安心してイベント等に参加できる環境を提供することで、業績の回復に努めてまいりました。

8月には、毎年当社が主催しています『きものプリリアンツ全国大会2020』を開催いたしました。第13回となる今回は、新型コロナウイルス感染症対策の中で行われた異例の大会となりましたが、参加者、会場提供者、運営会社など関係する皆様のご協力のもと、成功裏に終えることができました。また、8月末より秋のきもの着付け教室の募集をスタートしましたが、新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施するだけでなく、新規・既存のお客様により一層当社の魅力を感じていただけるように、『個別教室の日本和装』を掲げ、安心安全だけではなく、当社の質の高いサービスを提供してまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響は長期化し、その終息時期が見通せない状況が続きますが、拡大防止策を講じるだけでなく、より付加価値の高いサービスを提供できるよう今後も取り組んでまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高3,095百万円（前年同四半期22.6%減）、営業損失137百万円（前年同四半期は営業利益443百万円）、経常損失144百万円（前年同四半期は経常利益421百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失168百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益271百万円）となりました。

なお当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心とした、きもの関連事業の単一セグメントのため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

##### 財政状態

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して114百万円減少して、8,901百万円となりました。主な要因は、割賦売掛金が309百万円、流動資産のその他が128百万円減少した一方で、現金及び預金が271百万円増加したこと等によるものであります。

##### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して136百万円増加して、6,036百万円となりました。主な要因は、長期借入金が205百万円、前受金が162百万円増加した一方で、短期借入金が264百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して251百万円減少して、2,865百万円となりました。主な要因は、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失168百万円、配当金の支払81百万円等によるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。また、新たに生じた事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,000,000
計	33,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,134,000	9,134,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	9,134,000	9,134,000	-	-

(注) 普通株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日	-	9,134,000	-	478,198	-	354,973

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないことから、直前の基準日(2020年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 68,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,063,600	90,636	-
単元未満株式	普通株式 2,000	-	-
発行済株式総数	9,134,000	-	-
総株主の議決権	-	90,636	-

## 【自己株式等】

2020年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
日本和装ホールディングス株式会社	東京都港区六本木 六丁目2番31号	68,400	-	68,400	0.75
計	-	68,400	-	68,400	0.75

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,389,648	2,661,641
営業未収入金	230,675	299,569
割賦売掛金	5,236,289	4,926,766
たな卸資産	159,577	189,658
その他	543,728	414,858
貸倒引当金	58,413	62,794
流動資産合計	8,501,505	8,429,699
固定資産		
有形固定資産	226,827	201,020
無形固定資産	30,168	17,558
投資その他の資産	257,859	253,356
固定資産合計	514,854	471,935
資産合計	9,016,360	8,901,635
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	35,189	67,990
短期借入金	1,229,918,745	1,229,654,117
未払法人税等	113,161	21,380
前受金	354,568	517,159
営業預り金	28,771	59,671
その他	463,863	525,012
流動負債合計	3,914,299	3,845,332
固定負債		
長期借入金	1,219,978,116	1,221,183,737
その他	7,522	7,196
固定負債合計	1,985,638	2,190,933
負債合計	5,899,938	6,036,265
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	478,198	478,198
資本剰余金	292,211	292,211
利益剰余金	2,371,996	2,121,517
自己株式	22,629	22,629
株主資本合計	3,119,776	2,869,297
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,354	3,927
その他の包括利益累計額合計	3,354	3,927
純資産合計	3,116,422	2,865,370
負債純資産合計	9,016,360	8,901,635



## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,997,538	3,095,576
売上原価	404,069	398,420
売上総利益	3,593,468	2,697,155
販売費及び一般管理費	3,150,426	2,834,263
営業利益又は営業損失( )	443,042	137,107
営業外収益		
受取利息	54	63
助成金収入	-	21,650
還付消費税等	28,966	-
その他	11,519	2,343
営業外収益合計	40,541	24,058
営業外費用		
支払利息	25,723	16,925
支払手数料	18,449	12,196
固定資産除却損	15,113	567
その他	2,781	2,103
営業外費用合計	62,068	31,792
経常利益又は経常損失( )	421,515	144,841
特別損失		
訴訟関連損失	25,000	-
特別損失合計	25,000	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	396,515	144,841
法人税、住民税及び事業税	125,749	26,879
法人税等調整額	581	2,832
法人税等合計	125,167	24,046
四半期純利益又は四半期純損失( )	271,347	168,888
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失( )	271,347	168,888

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	271,347	168,888
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,131	573
その他の包括利益合計	1,131	573
四半期包括利益	270,215	169,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	270,215	169,461

## 【注記事項】

## (追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、第2四半期連結会計期間の四半期報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。

なお、この仮定は不確実性が高く、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

## (四半期連結貸借対照表関係)

- 1 当社及び連結子会社（ニチクレ株式会社・株式会社はかた匠工芸）においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行7行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
当座貸越極度額及び貸出コミットメントの総額	1,430,000千円	4,030,000千円
借入実行残高	680,000	1,440,000
差引額	750,000	2,590,000

## 2 財務制限条項

## 前連結会計年度(2019年12月31日)

当社グループの一部の借入金2,333,345千円(1年内返済予定の長期借入金を含む)について、純資産及び利益等に関する一定の条件の財務制限条項が付されております。

## 当第3四半期連結会計期間(2020年9月30日)

当社グループの一部の借入金2,243,359千円(1年内返済予定の長期借入金を含む)について、純資産及び利益等に関する一定の条件の財務制限条項が付されております。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
減価償却費	55,943千円	41,695千円

## (株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月14日 取締役会	普通株式	73,072	8	2018年12月31日	2019年3月12日	利益剰余金
2019年8月9日 取締役会	普通株式	35,844	4	2019年6月30日	2019年9月9日	利益剰余金

## 2. 株主資本の著しい変動

当社は、2019年3月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式330千株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が109,182千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が109,182千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年2月14日 取締役会	普通株式	81,590	9	2019年12月31日	2020年3月11日	利益剰余金

## 2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失( )	30円11銭	18円63銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	271,347	168,888
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	271,347	168,888
普通株式の期中平均株式数(株)	9,011,680	9,065,600
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月12日

日本和装ホールディングス株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 只隈 洋一 印指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 窪田 真 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本和装ホールディングス株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

**四半期連結財務諸表に対する経営者の責任**

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

**監査人の責任**

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

**監査人の結論**

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日本和装ホールディングス株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

**利害関係**

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。